

③ 國の政治を処理する。

わが国では国司を「烹鮮之職」という。（「職原抄」）。

○壞 ……形が崩れる。くずしつぶす。

○寧 ……いづくんぞ、なんぞ

157 ○東堂：試験場をいう。東堂は晋の宮殿。晋の郤詵が東堂で試験を受けた故事からいう。

『漢語大詞典』には「①東廂の殿堂或庁舎。古代多指皇宮或官舎」、「③指晋宮的正殿。晋武帝時郤詵于東堂殿試得第。後因以爲試院的代称」と説明する。ここでは「③」の意。

▼東堂桂：つぎの郤詵の故事から科擧の試験に及第することをいう。

（『晋書』「郤詵傳」）

郤詵以对策上第拜議郎、後遷官、晋武帝于東堂會送、問詵曰「卿自以爲何如」詵對曰「臣擧賢良对策、爲天下第一、猶桂林之一枝、崑山之片玉」。後因称科擧考試及第爲「東堂桂」。

（口語訳）

郤詵は対策に非常によい成績で及第し、議郎を拜した。そしてその後転任した。武帝の秦始皇年中（265～274年）雍州刺史に任命され赴任するとき、武帝が東堂で見送られ、郤詵に問われた。「あなたは今の自分をどう思っていますか」と。郤詵は「私は賢良（官吏登用試験の一つ）に擧げられ（推擧の意）第一位で合格したとはいえ、桂林のなかのほんの一枝を折つたに過ぎないし、崑山の名玉のなかのほんの一片にすぎません」と答えた。このち科擧の試験に及第することを「東堂桂」というようになった。（傍線筆者）